
桜が丘高等学校軽音部の6人

螢

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

桜が丘高等学校軽音部の6人

【Nコード】

N4472BA

【作者名】

螢

【あらすじ】

共学化された桜が丘元女子高に進学した北村 匠、桜が丘高校の軽音部がなかなか有名だという噂を聞いて、軽音部に入った、彼と軽音部が送る日々とは・・・

プロローグ（前書き）

どうも、螢です駄作とは思つかもしれませんがぜひ見ていってください。あとありがちな共学話です。

それではどうぞ

プロローグ

「ここが桜が丘高校かあ」

校門に立ち、のんきにしみじみと呟く青年

「にしても・・・全然男子が見当たらないなあ」

キョロキョロと周りを見渡す青年、だがそこには男子の数はポツポツといるかいないかぐらいにしか見えなかった。それもそのはず、今年に入って初めて共学化になったのだから。今年の一年生の男子比率は4分の一以下といつても間違えないくらいだ

「まあ、頑張りますか」

そう気合を入れて、青年は校舎のほうに歩いて行った

『続いて、校長先生の話です、校長先生お願いします』
コツコツコツ

『ええ、一年生のみなさん進学おめでとうございます・・・』

「あ、入学式ながいなあ、」

入学式にケチをつける青年

「だいたい入学式なんて、半分以上が校長の話で終わってっつてんじやん

それにぜってえみんな聞いてねえと思うしなあ」

青年の不満はエスカレートしていった

「お前さつきから何わけわかんねえこといつてんの？」

青年の不満を横で聞いていた青年Aだ

「え？・・・いや独り言だけど」

青年はいきなり声を掛けられて少しびっくりしながらそう答えた

「そうか・・・でも確かにお前のいうとおりかもしれないなあ、周りに見てみるよ」

そう青年Aがいい青年は周りを見渡した、確かにみんな校長の話を

聞いているのは聞いているが完全に右から左だ

「ははは・・・ホントだ」

同意しながら軽く愛想笑いをする青年

こうして、青年の高校生活の第一歩目が始まった

プロローグ（後書き）

こんな感じなんです、プロローグはあんまり思いつかなかったので
次回から頑張ります。

プロフィール（前書き）

どうも、今回は主人公のキャラ設定です

それではどうぞ

プロフィール

主人公設定

名前：北村 きたむら 匠 たくみ

生年月日：1993年7月3日

身長：180cm

体重：73kg

パート：リズムギター ボーカル コーラス

血液型：A型

利き手：左手

外見：肩まで伸びた真っ黒なロングヘアで、目の色は茶色、また帽子をよくかぶりプライベート、登校時、ライブなどでは必ず被る使用楽器

ギター：ギブソン ES - 335

桜が丘高校の軽音部が有名という理由で桜が丘高校に入り軽音部の唯一の男部員であり、少し肩身の狭い思いをしている様子、感が若干よく、危ないと思ったことはだいたいが当たる、逃げようとするが、軽音部の先輩たちにつきまっしてしまいあまり役に立っていない様子、また作詞・作曲を一人でやって見せたり（中身は少し乙女チックな物と、生死を考えさせられる物がある）、声の高音などの調節ができていて音楽に関しては長けている。

父親がアメリカ人で幼稚園のころから小学校4年生までにかけてアメリカに住んでいたため英語は寛容であり、彼が作る歌詞にも英語が入っていて、ギターの実績も長く小5から始めたらしい、また両親が外国で仕事をしているので家事は全部一人でやっている。

かなり優柔不断であり自分一人で物事を決めたことがない、なのでコンビニなどに行くと小1時間ぐらいは、買い物にかかるかかる

らしい、また帽子が好きでかなりの種類の帽子を持っていて学校生活以外では、必ず被っている。

利き手は左手なのだが右利き用のギターを使っていて本人曰く「長所は短所になる」という理由で使っているらしい。

視力が0.2と非常に低く、普段はコンタクトをしているがたまにメガネをかけることもしばしばある。

唯や律によくいじられていて、当の本人は、先輩と話せるきかいでできてうれしいと、ポジティブに考えている。根本的に人と接することは好きらしい。

プロフィール（後書き）

気づいている人もいると思いますが、これはRADWIMPSの野田洋次郎をベースとして、書かせてもらっています。ちなみにけいおん！！の世界にはRADWIMPSは存在していませんがRADWIMPSの歌は出てきます。

それではまた変更があったらきますので

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4472ba/>

桜が丘高等学校軽音部の6人

2012年1月12日01時01分発行